

2026 年度 東北公益文科大学

< 公益学部 > 総合型選抜試験問題

小 論 文

受験番号								氏名	
------	--	--	--	--	--	--	--	----	--

受験上の注意

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いたり裏返したりしてはいけません。
- ② 机の上に置いてよいものは、受験票、筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆ケース、鉛筆削り）、眼鏡、ハンカチ、薬、ティシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、時計のみです。なお、時計は計時機能だけのものに限りません。
- ③ 携帯電話及びスマートフォン等の電源は必ず切ってください。
- ④ 小論文の問題は見開き 1 ページです。
- ⑤ 解答用紙は 1 枚です。
- ⑥ 受験番号と氏名は、問題冊子及び解答用紙のそれぞれ所定の欄に必ず記入してください。
- ⑦ 問題の解答時間は 70 分です。
- ⑧ 解答は別紙の横書きの解答用紙に 600 字以内でまとめてください。
- ⑨ 問題冊子の余白は下書きに用いてもかまいません。
- ⑩ 解答用紙の余白及び裏面には何も書いてはいけません。
- ⑪ 問題に疑問のある場合は黙って手を挙げてください。ただし、問題の内容に関する質問については受け付けません。
- ⑫ 試験中に気分が悪くなった時やトイレに行きたくなった時は、手を挙げて係員の指示に従ってください。
- ⑬ 印刷に不鮮明な箇所がある場合は、黙って手を挙げてください。
- ⑭ 解答用紙は汚れても新しいものとは交換しません。そのまま提出してください。
- ⑮ 解答終了の合図で、筆記用具を置いてください。
- ⑯ 係員が答案用紙の回収を終えるまで、席を立たないでください。
- ⑰ 問題冊子は試験終了後持ち帰ってください。

次の文章を読み、あとの問に答えなさい。

20 世紀半ばから 1970 年代にかけて、理想の社会モデルとして語られた福祉国家も、しだいにさまざまな現実的な批判にさらされてきている。①福祉国家がもつ再分配機能のうち階層間の垂直的機能への懐疑、②福祉財源増加の前提たる経済成長がもたらす弊害に対する環境保護主義からの批判、③福祉国家が有しがちな制度や運営へのフェミニズムからの批判、④国際的な労働力移動が社会保障資格の国籍要件の問題をあぶりだし、福祉国家も国民国家の限界内にあることの批判などがあげられる。これらは、福祉国家の有効性批判（①・②など）、福祉国家の潜在機能批判（③・④など）に分けることができる。ここでは、まず福祉国家の有効性批判として階層問題にふれてみよう。

福祉国家は階層間の所得再分配をその目的の 1 つとしている。しかし、その実体的動向はかならずしもその方向に向かっているわけではない。福祉の問題は初期には貧困の除去や不平等の軽減が課題とされ、その対象はおもに貧困層・低所得層であった。20 世紀半ば以降の先進国での「豊かな社会」の成立は、絶対的な貧困問題を抱える人たちの減少とその相対的比重の低下をもたらした。産業化・工業化による人びとの生活水準の一般的上昇が、社会問題たる貧困問題の解決の大きな一翼を担ったのである。しかし、福祉国家を支える福祉政策の諸整備が進んできたことは、その対象を全階層に広げるとともに、目標において QOL¹⁾ といった広い範囲までを包括するようになってきた。そのような対象範囲の拡大には、貧困という経済的問題だけでなく、高齢者や障害者の介護・介助、家族機能の弱まりなど新たな問題が浮上してきたことや、多くの階層を含むことで、リスク分散をはかる社会保険という方法が一般化してきたことも関係している。

その結果、福祉国家全体としては、財源を確保すべき重要な政策が医療保険・年金保険という社会保険政策へと移動してくることになった。このことは、先にふれた高齢化の進行による高齢者医療費の増加、年金制度の成熟による支払い額の増額なども関係してきている。その際、社会保険料の重要な支払い者であり、有権者の多数を占める中流階層への政治的配慮などから、多くの場合、福祉国家は中流階層をその重要な受益層とする方向に変化していくことになる。生活保障の対象の中核が中流階層になってくことは、福祉国家において階層間の垂直的再分配という目的意識が相対的に稀薄になってくることでもある。貧困層から中流階層へという福祉国家のターゲットの変化は、「中流階層による福祉国家の植民地化」と厳しく批判されることもある。

それらを考えると、20 世紀半ばに先進諸国の多くにおいて福祉国家が隆盛を迎えたのは、それらの国々が高度経済成長を経験したと無縁ではなく、高度経済成長の果実の再分配によって、それが達成されたと考えることもできる。しかし、その後の低成長時代への突入で、福祉国家を無限に拡大していくことはできなくなり、むしろ、さまざまな制度改変の必要性の前で福祉国家が迷走する段階にいたっている。

〔出題者注〕

1) Quality of Life (生活の質)

出所：長谷川公一他『社会学』（有斐閣、2007 年）287-288 ページより抜粋。

問 「中流階層による福祉国家の植民地化」という批判はどのような状況を問題にしているのかの説明と、この批判を踏まえて有効だと考えられる具体的な解決策を、合わせて 600 字以内で述べなさい。